

幼児クラス（5歳児）

活動人数 8名

活動日 令和7年4月8日～  
令和7年3月3日

活動時間 10:00-11:30



テーマ

食育

<テーマの設定理由>

給食の先生から再生栽培の提案があり、牛乳パックで育てたところ、子どもたちが興味を持ち、野菜についてもっと知りたいという欲求に繋がったため。

## どこで何をする？

### <活動スケジュール>

- 小松菜の再生栽培
  - ・土作り（4/8）
  - ・牛乳パックに植替える（4/11）
  - ・収穫、絵の具でスタンプ遊び（5/13）
- 夏野菜の栽培
  - ・苗の観察を行う、苗をプランターに植え替える（5/2）
  - ・ピーマンの収穫、断面の観察、種を数える（5/22）
  - ・野菜を収穫し、給食室に届ける（7/3）

## 何が必要？

### <環境デザイン・準備物・環境設定>

- ・iphone（記録用）
- ・プランター
- ・野菜の苗
- ・じょうろ
- ・培養土、石灰
- ・スコップ
- ・エプロン
- ・絵の具、筆
- ・ハサミ
- ・画用紙
- ・クレヨン
- ・牛乳パック
- ・包丁、まな板
- ・プロジェクター

## 実践記録

<活動内容>

- ①小松菜の収穫
- ②夏野菜の栽培

### ①小松菜の収穫と観察画

【2025年4月8日 土作り 気温19度 湿度40%】

園舎裏に土作りにちょうど良い小さなスペースがあり、根っこを育てるために水につけていた小松菜を土に移すために培養土と石灰をスコップで混ぜ、土作りを行った。土の塊をほぐし、白い石灰と良く混ぜるよう「小松菜さんのベッドになるからね」と声を掛けて進めていくと子どもたちもイメージが膨らみ「ふかふかにしてあげよう！」「混ぜていくと白がなくなるよ」等思い思いに話していた。



【2025年4月11日 牛乳パックに植替え 気温22度 湿度39%】

牛乳パックで水につけて根が育った小松菜をスコップで土に植え替える。周りの汚れた部分を取って、牛乳パックに植える。「これが本当に大きくなるのかなあ」「あの小松菜になるのかなあ」と育っていく様子をイメージしながら楽しんで参加する様子があった。



【2025年5月13日 収穫、小松菜スタンプ 気温23度 湿度44%】

小松菜の収穫。土から抜いて洗ったところ、小松菜の裏に虫がついてしまい、食べることはできなかった。「何の虫かなあ?」「おいしくてたべちゃったのかな...」と少し悲しそうな子どもたち。「どうしようねえ」と問いかけると「じゃあスタンプする?」と以前の経験から子どもたちから提案があり、今回は食べずに水で葉っぱを洗い、絵の具をつけてスタンプを楽しんだ。「いろんな大きさの葉っぱがあるね」「葉っぱに線がたくさんあるよ」と気付く様子があったため、葉脈の役割を分かりやすく伝えてみる。すると「へえ...」と不思議そうに呟いていた。



## ②夏野菜の栽培

【2025年5月2日 苗の観察・プランターに植替え 気温20度 湿度56%】

買って来た苗（キュウリ、ピーマン、ナス、オクラ）の観察をし、二人程度のグループになり絵で表現する。触ったり匂いを嗅いだり自由に触れ合う子どもたち。保育者が「触るとどう?」と聞くと「ざらざらする」「フワフワしてる!」と気付いたことを沢山教えてくれる子どもたち。絵に表現するとナスの観察画を画用紙に描いた子は、「みてみて、葉に紫の線がある」と気付く友達と話し、クレヨンで表現していた。「どんな形かな?」と声を掛けるとそれぞれの野菜の葉っぱの形の違いに気づいたり「ハートみたいに見える!」と気付く様子があった。



【2025年5月22日 ピーマンの収穫・断面の観察・種数え 気温24度 湿度65%】

毎日の水やりをジョーロで行う。ピーマンを観察すると、「見て見て！赤ちゃんピーマン！」「みんなで数えよう！」と喜んで話していた。その中で花が落ちていること、付いている花の色が変わってきていること、ピーマンになりかけの実があることに気づいていた。ハサミで収穫したピーマンを包丁とまな板を使って半分に切り断面の観察を二人ペアで行なう。「ちょっとピーマンのにおいするね」「種が付いてるよ！」と気付いたことを話す。「何個あるのかなぁ…」と呟く子がいたため、みんなに伝えると「じゃあ数えてみるの？」となり、みんなで数えた。何個あるか、それぞれ予想を立てて数え始めると66個の種が見つかり、予想よりも多いことに驚く姿があった。



【2025年7月3日 オクラの収穫・給食室にお届け 気温27度 湿度54%】

実がなったら収穫、観察を行い給食室に届ける活動を行った。毎日ジョーロで水をやり実が大きくなってきたことに気づく子どもたち。「そろそろ採れるんじゃない？」「今日収穫しようよ！」と話していた。観察ではそれぞれの実の付き方や花の色、花が土の上に落ちていることに気づく。オクラは上を向いて育つことに驚き、初めは実を見ると「これなんだろうね…？」と不思議がっていたが、少しずつオクラの実であることに気づき、「こんな風になるんだ！」と驚く姿があった。



## 振り返り

### <振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・自分たちで植物を育てる中で、いつも食べている食材がどんな育ち方をしてどのようなルートで自分たちのところに来ているのかを学んでいく様子があった。食べ物が大事ということは以前から理解している様子があったが、自分たちの手で実際に育てることでより食に興味を持って食事をするようになっていた。
- ・様々な食材を育てたことでそれぞれの葉や実、花の違いに興味を持ってみる様子があった。その気づきを言葉や絵など様々な手段で共有することができ、良かったと思う。
- ・ピーマンでは子どもたちの発言から収穫した後に予想を立てて種を数えることで探求心を深めることができたように感じた。
- ・育てる中で実がならなかった野菜もあったが、なぜならないのか等を考えることができ、考えたり想像する力を養えたように感じた。
- ・活動を実施した月の職員会議で、写真をプロジェクターに投影し、保育者同士で意見を共有し、活動の振り返りを行う。
- ・HPで保護者の方と共有する。